



促成トマトで黄化葉巻病が多発生しています タバココナジラミの防除を徹底しましょう！

[発令の内容]

作物名 : トマト
病虫害名 : トマト黄化葉巻病
発生量 : 多い
発生地域 : 県下全域

[発令の根拠]

- ① 4 月下旬現在、促成トマトにおける黄化葉巻病の発生地点率は過去 6 年中 1 位と高く（本年 40%、平年 10%）、発病株率も過去 6 年中 2 位とやや高い（本年 0.2%、平年 0.1%）（表 1）。
- ② 4 月下旬現在、媒介虫であるタバココナジラミの発生を認めている。
- ③ 発病圃場では、発病株が抜き取り処分されていない場合が多い。そのため、保毒したタバココナジラミがハウス外へ飛び出し、周辺のトマトにウイルスを媒介させる恐れがある。
- ④ 今後、抑制トマト栽培の育苗期となり、苗への感染が懸念される。
- ⑤ 家庭菜園など、露地に植付けされているトマトでも発病が懸念される。また、発病した場合は、施設抑制トマトへの感染源となる恐れがある。

表 1 促成トマトにおけるトマト黄化葉巻病の発生状況（平成 24 年 4 月下旬調査）

発生地点率 (%)			発病株率 (%)		
本年	平年 ¹⁾	順位 ²⁾	本年	平年 ¹⁾	順位 ²⁾
40	10	1	0.2	0.1	2

1) 平年：平成19～平成23年までの5年間の平均値を示す。

2) 順位：過去6年間における本年値の順位を示す。

[防除対策]

- ① 発病が認められた株は伝染源となるため、速やかに抜き取り、ビニール袋等に入れて密封し、株を腐らせてから処分する。
- ② ハウスの開口部には 0.4mm 目合い以下の防虫ネットを設置し、タバココナジラミのハウス内の侵入及びハウス外への飛び出しを防止する。
- ③ トマトの苗は 0.4mm 目合い以下の防虫ネットでトンネル被覆する等、タバココナジラミの侵入防止を徹底する。また、育苗時か定植時に粒剤を施用する等によりタバココナジラミの防除を徹底する。
- ④ タバココナジラミは葉裏に多く寄生するため、薬液は下方から吹き上げるよう丁寧に散布する。散布薬剤については表 2 を参照する。
- ⑤ 促成栽培では、栽培終了時までタバココナジラミの防除を徹底する。また、栽培終了時にハウスの開口部を閉めた状態でトマトの株元を切断するか株を抜き取り、その後、ハウスを密封して蒸し込み処理を行い、タバココナジラミの野外への飛び出しを防止する。
- ⑥ 雑草はタバココナジラミの生息場所となるため、ハウス内外の除草を徹底する。

表2 トマト，ミニトマトのコナジラミ類に登録のある主な薬剤（平成24年4月25日現在）

薬剤名	有効成分名	系統名
アルバリン／スタークル粒剤	ジノテフラン	ネオニコチノイド系
アルバリン／スタークル顆粒水溶剤		
ベストガード粒剤	ニテンピラム	
ベストガード水溶剤		
アニキ乳剤	レピメクチン	マクロライド系
コロマイト乳剤	ミルベメクチン	
コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	その他
サンマイトフロアブル	ピリダベン	

※農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用基準を守り，周辺作物への飛散（ドリフト）に注意して下さい。また，下方から吹き上げるように散布する場合は，散布作業の進行方向に注意し，薬剤を吸い込まないよう注意して行って下さい。

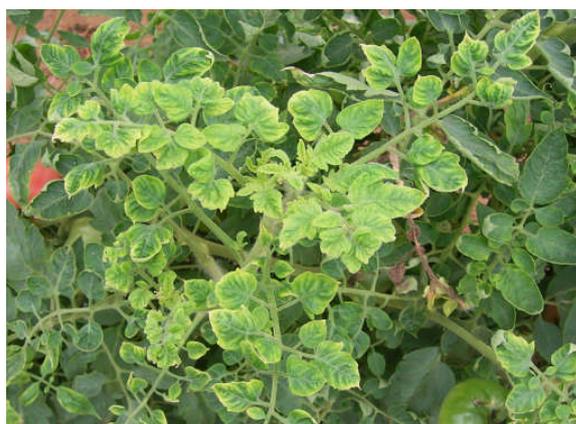


写真1 トマト黄化葉巻病に感染した株の症状



写真2 トマト黄化葉巻病の葉の症状



写真3 タバココナジラミ（成虫）



写真4 タバココナジラミ（幼虫）